

令和7年度鳥取県立八頭高等学校特色入学者選抜の実施に関する必要事項

入学者選抜の出願資格・調査書等については、「令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜実施要項」（鳥取県教育委員会）〔<https://www.pref.tottori.lg.jp/317825.htm>〕の7ページに、特色入学者選抜の出願要件等については8～10ページに記載してあります。

また、鳥取県立八頭高等学校特色入学者選抜に関する必要事項は以下のとおりです。

1 特色入学者選抜を実施する学科

普通学科 普通科

2 特色入学者選抜を実施する学科の特色

創立100年を迎える歴史を持つ普通科高校です。令和2年度から類型制を導入しており、多様な進路への対応が可能になっています。

1年次は共通カリキュラムで学習し、2年次から体育、看護医療、総合文科・理科、探究文科・理科の6類型に分かれて学習します。

3 特色入学者選抜募集人員

スポーツ活動 36人以内（うち県外生徒12人程度）

創造活動 12人以内

4 特色入学者選抜出願要件

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜実施要項の出願要件に加えて、以下のことを出願要件とする。

（1）スポーツ活動

○次の1に該当する者のうち、2または3のいずれかに該当する者。

1 本校が指定する以下の競技種目の部活動またはクラブチーム等において活動している者で、その競技種目を高校入学後も3年間継続して積極的に取り組む意思が強い者。

【男子】陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、サッカー、柔道、剣道、ホッケー、硬式野球

【女子】陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、柔道、ホッケー

※県外生徒は、陸上競技（男子・女子）、柔道（男子）、剣道（男子）、ホッケー（男子・女子）、硬式野球（男子）からいずれか一つ。

2 1にあげる競技種目における活動実績が、次の（1）～（3）のいずれかに該当する者。

（1）全国大会またはブロック大会に選手として出場した者

（2）鳥取県大会において、選手として団体ベスト8以上、個人8位以上の実績をあげた者または県外の大会でこれと同等の成績と判断できる実績をあげた者

（3）県以上の規模の選抜チームに選出された者

3 1にあげる競技種目で、所属する部活動・クラブチームの中心的存在として活躍し、その充実・発展に努めた者。

（2）創造活動

○創造力豊かで探究心があり、高校での探究活動に意欲的に取り組める者、かつ、中学校での学習活動や文化活動またはこれに類する活動における実績が次の（1）～（4）のいずれかに該当する者。

（1）創造的活動（文化的活動を含む）の県大会レベル以上の大会や発表会において、入賞以上の成績をおさめた者

（2）級の目安が明示されている資格試験で、中学校卒業程度を超えるレベルの資格・検定を取得している者

（3）校外の発表会への参加やボランティア活動に積極的に取り組むなど、意欲的に課外活動に取り組んだ者

（4）校内活動（生徒会活動、学級活動、部活動等）の中心的存在として、その充実・発展に努めた者

5 特色入学者選抜検査内容

(1) スポーツ活動

学力検査 3教科(国語・数学・英語)

面接 個人面接 1人10分程度

実技検査 専門種目に係る基礎的及び実践的運動能力に関する検査

県内生徒は、下記の専門種目の中から一つ選択して受検する。

また、県外生徒は、陸上競技(男子・女子)、ホッケー(男子・女子)、柔道(男子)、剣道(男子)、硬式野球(男子)の中から一つ選択して受検する。

専門種目			服装等
男子	陸上競技	短距離・投てき・跳躍	体操服(運動のできる服装)
		中長距離	室内用運動靴(滑りにくいもの)
	ホッケー		体操服(運動のできる服装)
			室内用運動靴(滑りにくいもの)
	バレーボール		体操服(運動のできる服装)
			室内用運動靴(バレーボールシューズが望ましい)
	サッカー		体操服(運動のできる服装)、レガース
			室内用運動靴(フットサルシューズが望ましい)
女子	硬式野球		体操服(運動のできる服装)
			屋外用運動靴(スパイクシューズは不可)
	ソフトテニス		体操服(運動のできる服装)
			屋外用運動靴(テニスシューズが望ましい)、ラケット
	柔道		柔道衣一式
女子	剣道		剣道具一式
	陸上競技	短距離・投てき・跳躍	体操服(運動のできる服装)
		中長距離	室内用運動靴(滑りにくいもの)
	ホッケー		体操服(運動のできる服装)
			室内用運動靴(滑りにくいもの)
女子	バレーボール		体操服(運動のできる服装)
			室内用運動靴(バレーボールシューズが望ましい)
	ソフトテニス		体操服(運動のできる服装)
女子			屋外用運動靴(テニスシューズが望ましい)、ラケット
	柔道		柔道衣一式

※実技検査では待機中に防寒具(ウィンドブレーカー、ベンチコート等)を着用しても構いません。

(2) 創造活動

学力検査 3教科(国語・数学・英語)

面接 個人面接 1人10分程度

プレゼンテーション 個人発表(質疑応答を含めて10分程度)

中学生のときに頑張ったこと(その成果と取組の経過、そこから得たことを高校生活にどのように活かし発展させたいか)を、以下に示す構成で作成・発表する。なお、発表は出願時に提出する志望理由書の「1 該当する出願要件」に基づいた内容とする。

プレゼンテーション資料の構成	プレゼンテーション資料の提出方法
以下の4項目で作成 (1) タイトル(アピールしたい実績1つ) (2) 実績をおさめるまでの取組の経過 (3) その取組から得たもの (4) 入学後の展望	任意様式(A4版)に項目ごと1枚で作成(計4枚)し、出願時に印刷物を提出 〔作成については、手書きでもパソコン等を使用しても構いません。〕

検査当日に使用するプレゼンテーション資料は、高校が準備する(志願者から提出された資料をA3版に拡大印刷)ので、志願者が検査当日に資料を準備する必要はありません。但し、発表のときに手持ち資料等が必要な場合は各自で準備してください。なお、質疑応答では、手持ち資料を見てはいけません。

6 実施期日・日程

令和7年2月3日(月)

集合・点呼 8:10 八頭高等学校 多目的ホール(第1校舎2階)

諸注意 8:15～

学力検査

国語 8:30～ 9:00

数学 9:10～ 9:40

英語 9:50～10:20

休憩 10:20～10:30

諸注意 10:30～

スポーツ活動		創造活動	
更衣・移動	10:35～10:55	面接	10:40～
実技検査	11:00～12:00	プレゼンテーション	面接終了後～
移動・更衣	12:00～12:20		
休憩（昼食）	12:20～12:50		
諸注意	12:50～13:00		
面接	13:00～		
※ 面接を終了した受検者より順次帰宅		※ プレゼンテーションが終了した受検者より順次帰宅	

※ 志願状況により一部時間を変更することがあります。時間を変更する場合は、検査前日までに志願者の出身または在籍中学校長宛に連絡します。

7 携行品

受検証、筆記用具、実技検査時の服装等、防寒具、弁当（スポーツ活動特色選抜の志願者のみ）、飲料水等、腕時計（計時機能のみ）、上履き（校舎内移動時に使用するスリッパ等で、実技検査時の室内用運動靴とは別のもの。）

なお、面接は待機している時間が長いので、適当な書物等を持参しても構いません。

8 出願書類等の提出について

県教育委員会が定める出願書類とは別に以下の書類を出願時に他の書類とともに提出してください。

区分	提出様式	対象者
スポーツ	八頭高特色様式第1号「スポーツ活動の実績等を証明する書類」または八頭高特色様式第2号「スポーツ活動の報告書」のいずれか	様式第1号は出願要件の2（1）～（3）に該当する者、様式第2号は出願要件の3に該当する者
	八頭高特色様式第3号「特色入学者選抜実技検査種目調査票」	スポーツ活動特色選抜の志願者全員
創造	八頭高特色様式第4号「創造活動の実績等を証明する書類」	創造活動特色選抜の志願者全員
	プレゼンテーション資料（任意様式A 4版4枚）	

※ 八頭高特色様式第2号「スポーツ活動の報告書」は志願者の活動をよく知る人に具体的内容を記載してもらい提出してください。

9 入学者の選抜

（1）スポーツ活動

学力検査、面接、実技検査の結果、活動実績、志望理由書及び調査書等を資料として総合的に判断します。

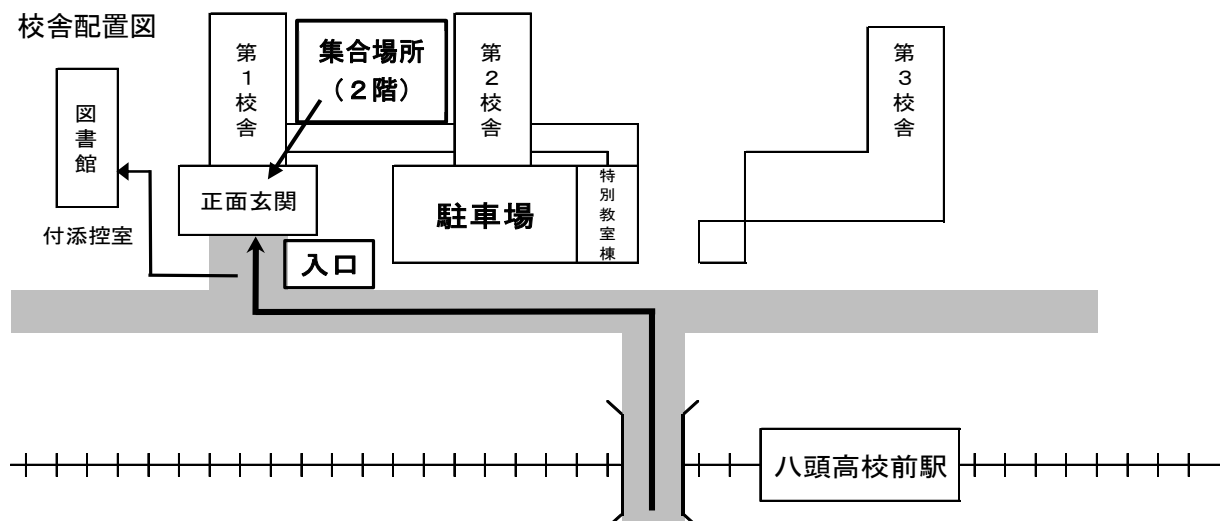
（2）創造活動

学力検査、面接、プレゼンテーションの結果、活動実績、志望理由書及び調査書等を資料として総合的に判断します。

10 その他

当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、県教育委員会と対応について検討し、改めて、志願者の出身または在籍中学校長を通じてお知らせします。

11 校舎配置図



※ 帰宅の列車などを待つ受検生は八頭高等学校図書館（付添控室）を利用してください。

出願要件の2（1）～（3）のいずれかに該当する場合に提出

スポーツ活動の実績等を証明する書類

鳥取県立八頭高等学校長 様

令和 年 月 日

学 校 名

志 願 者 氏 名

生 年 月 日 平成 年 月 日

- 1 志望理由書（様式第5号）に記載した「該当する出願要件」を次の欄に記載してください。

--

- 2 1で記載した出願要件について、以下の該当する要件の欄に、それぞれ具体的内容を記載してください。

出願要件を満たす大会名等及び実績等は、最も上位のものを記載してください。なお、志願者自身が最も上位の実績等の判断に迷う場合は欄内に併記しても構いません。

併せて、それらの実績等を証明する書類（写し可）を提出してください。また、その書類の右上に下記の表の該当番号を記し、この様式を一番上にしてクリップ留めして提出してください。

なお、実績等を証明する書類の大きさはA4版を基本としますが、読みにくい場合は大きくても構いません。

要件	大会名等*1	実績等*2
(1)		
(2)		
(3)		

- (注) ① *1の欄には、出場した大会名等を記載すること。
② *2の欄には、チームの成績に加えて、個人の成績で特記すべきものがあれば併記してください。（例；チーム、〇〇駅伝〇位。個人、〇〇駅伝〇区〇位）

- ・作成（記載）はパソコン等を利用しても構いません。
- ・受付番号欄（※印欄）は記載しないこと。

受付番号

※

令和 年 月 日

生 年 月 日 平成 年 月 日

- | |
|--|
| |
|--|

- [illegible]

-

特色入学者選抜実技検査種目調査票

鳥取県立八頭高等学校長 様

令和 年 月 日

学 校 名	
-------	--

貴校普通学科普通科の特色入学者選抜の実技検査種目を、下記のとおり選択します。

記

(ふりがな)		受検 番号	※
志願者氏名			

※の欄は記入しないこと。

次の実技検査種目の中から1つ選び、**選択種目**の欄に○印を記入してください。

実技検査種目			選択種目
男 子	陸上競技	短距離・投てき・跳躍	
		中長距離	
	ホッケー		
	バレーボール		
	サッカー		
	硬式野球		
	ソフトテニス		
	柔道		
	剣道		
女 子	陸上競技	短距離・投てき・跳躍	
		中長距離	
	ホッケー		
	バレーボール		
	ソフトテニス		
	柔道		

鳥取県立八頭高等学校長 様

学 校 名

志願者氏名

生 年 月 日 平成 年 月 日

- 1 志望理由書（様式第5号）に記載した「該当する出願要件」を次の欄に記載してください。

--

- 2 1で記載した出願要件について、以下の該当する欄に、それぞれ具体的内容を記載してください。

出願要件を満たす大会名等及び実績等は、最も上位のものを欄に記載してください。なお、志願者自身が最も上位の実績等の判断に迷う場合は欄内に併記しても構いません。

併せて、それらの実績等を証明する書類（写し可）を提出してください。また、その書類の右上に下記の表の該当番号を記し、この様式を一番上にしてクリップ留めして提出してください。

なお、実績等を証明する書類の大きさはA4版を基本としますが、読みにくい場合は大きくても構いません。

要件	大会名等*1	実績等*2
(1)		
(2)		
(3)		

- (注) ① * 1 の欄には、出場した大会名、取得した資格名、参加した発表会名、参加したボランティア活動等を記載すること。
- ② * 2 の欄には、団体の成績に加えて、個人の成績で特記すべきものがあれば併記してください。(例：団体、〇〇コンクール〇賞。個人、〇〇大会〇賞)
- ③ 出願要件(2)にある中学校卒業程度を超えるレベルの資格・検定とは、英語検定準2級、数学検定準2級、漢字検定準2級、歴史能力検定3級以上相当とします。

志願者本人の活動をよく知る教職員にその内容を記載してもらい、提出してください。

[illegible]

- ・作成（記載）はパソコン等を利用しても構いません。
- ・受付番号欄（※印欄）は記入しないこと。

受付番号	※
------	---